

東構協・青年経営者委員会

会員ら8人で

台湾研修を実施

東京鉄構工業協同組合

・青年経営者委員会(会

長 池田和隆・池田鉄工

社長)は17~19日の日程

で台湾研修事業を行った。

参加者は同青年経営者

委員会の池田会長ら計8

人で、一行は半自動ワイ

ヤメーカーの廣泰金属工

業と台湾最大のファブと

して知られる長栄鋼鉄の

両社を見学した。以下、

研修内容について池田会

長に寄稿していただい

た。

【寄稿】

台湾研修を終えて

池田 和隆



台北から朝  
一の高速度鉄道  
(日本製新幹  
線)で台南へ

移動し、研修先1カ所目  
となる半自動ワイヤを  
製造している廣泰金属工  
業(株)に。台湾の高炉メー  
カーから納入している材  
料となる鉄板を、ワイヤ

1状になるまで引  
き伸ばしている機  
械に入れ、工程を  
経て、われわれが  
工場で見ても目に  
しているワイヤー  
の製品となってい  
く。



製造工程を視察

台湾は九州ほどの国土  
の大きさで鉄骨業者は1  
00社程度、年間約65万  
トの需要がある。台湾の  
建物の構造体は、主にR  
C造、SRC造、S造が  
メインで木造はあまりな  
いという。そうした背景  
から日本よりも、鉄骨造  
の需要が多い。

1、長栄鋼鉄(株)へ。見学  
した第一工場はなんと20  
万平方メートル、第二工場は15  
万平方メートルの広さを誇り、  
月1万~1.5万トを生  
産。従業員は900名、  
年間売り上げは日本円に  
換算して約500億円の  
上場企業として知られる。  
CADはテクラを使用し、  
超高層ビルなどを手掛け  
ている。

環境意識が高い  
台湾では、来年か  
らCO<sub>2</sub>課税が開  
始され、1500  
円/トが課税対象  
となる。そのため、  
CO<sub>2</sub>を目的に、  
アルゴン...80%、  
CO<sub>2</sub>...20%にし  
た半自動溶接を実  
施すること。

われわれが見学したと  
きは、半導体大手のTS  
MCの工場を製作してお  
り、納期が厳しいため、  
現場JOINTを減らし、  
日本では絶対運搬できな  
い長さで製作していた。  
聞くと言間に運搬  
するようだ。

台湾のファブリケータ  
見学は初めてだったが、  
技術力の高さに驚いた。  
また、環境に対する認識  
は、日本よりも進んでい  
ると実感した研修となっ  
た。(池田鉄工社長)



廣泰金属工業にて